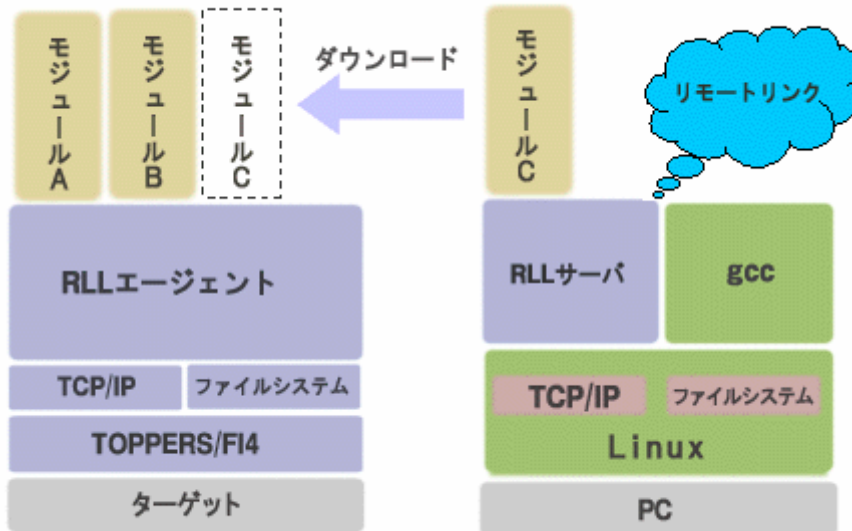


Remote Link Loader **取り扱い説明書**

RLLはRemote Link Loader(以下、RLLと略記)は、ターゲットシステムにアプリケーションプログラムやデバイスドライバといったモジュールを動的に追加、削除、更新するためのソフトウェアで、TOPPERS/FI4カーネル上で動作するように開発されています。



RLLは情報処理推進機構(IPA)によるオープンソフトウェア活用基盤整備事業の採択テーマの1つである「 μ ITRON4.0仕様に完全準拠し拡張を含むオープンソース μ ITRON仕様OSの開発」の開発成果物がベースになっています。RLLドキュメントは、開発成果物であるダイナミックローディング機能取り扱い説明書を参照してください。

次にRLLと、ダイナミックローディング機能取り扱い説明書に書かれている用語の対応を記述いたします。

RLL表記	開発成果物表記
RLL	ダイナミックローディング 機能対応 ITRON OS
RLLエージェント	ローダ
RLLサーバ	ダウンロードサーバ
RLLシェル	ダウンロードシェル機能

注意点

RLL サーバのソースコードは開示していません。バイナリでの提供となります。

RLL シェルのソースコードは開示していません。バイナリでの提供となります。

ユーザは、なんらかの通信手段を提供してターゲットシステムと、RLL サーバが通信できるようにする必要があります。

開発成果物で使用している TCP/IP プロトコルスタックならびにファイルシステムのソースコードは開示していません。